

(平成 29 年 3 月 10 日)

(平成 29 年 9 月 1 日)

清和台の環境アセスメントについて (改)

- 1) 川西市美化環境部美化環境室環境創造課ホームページ (2016.3.19 調べ)
 - ・大気汚染：兵庫県が市役所内 (中央町) で一般環境大気を、加茂 5 丁目で自動車排出ガスを常時測定している。市役所での測定項目は二酸化硫黄 (17～26 年度)、二酸化窒素 (同)、浮遊粒子状物質 (同)、光化学オキシダント (同)、微小粒子状物質 (25 年度より) で、全て環境基準値を下回っている。加茂での測定項目は一酸化炭素 (17～26 年度)、二酸化窒素 (同)、浮遊粒子状物質 (同) で、環境基準値を下回っているが、23 年度から測定している微小粒子状物質は環境基準値ギリギリである (図 1)。
 - ・騒音・振動：自動車騒音 (表 1, 2)
- 2) ひょうごの環境影響評価 (2016.3.19 調べ)
 - 参考資料：大気・水質等常時監視結果 (平成 26 年度)、17 項目、65 ページに渡って、分析結果が公表されている。川西市の測定地点は加茂のみ。
- 3) 県道川西篠山線の交通量 (道路整備課足立課長から電話連絡/2016.6.9)
 - ・国土交通省作成の平成 22 年度道路交通センサス調査によれば、清和台西 4 丁目での 24 時間交通量；24,403 台 (両側、大小込)
 - ・西日本ネクスコからの回答；27-28 年度では、清和台大橋を通過する大型トラックは 1 日最大 120 台 (何回往復するかは不明) である。
- 4) 国土交通省の平成 22 年度道路交通センサス、全国道路・街路交通情勢調査 (箇所別基本法および時間帯別交通量など) をインターネット検索し、抜粋データから、表 3 を作成した。この調査は 5 年ごとに全国一斉に行われるが、平成 27 年度分のデータが、今年の 6 月に発表された。そのデータのまとめを表 4 に示す。平成 27 年度は新名神高速道路工事の最盛期であるが、これらの調査結果からは、清和台を通り抜ける大型トラックが増加しているとは言えない。高速道路が完成後は交通量がかなり変わると推測されるが、ここに示したデータは、今後の調査結果との比較のための基礎データになると思われます。

以上